

第91回新潟県中央メーデーに際し、新潟労働局長としてのメッセージを送らせていただきます。

中央実行委員会の幹部の皆様、来賓の皆様、そしてインターネット動画を通じてこの式典に参加されている労働者の皆様、令和になって初めてのメーデーの開催、まことにおめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、今年は一般の労働者が会場には集まらず、インターネットを通じて参加する形となりましたが、これらの様々な工夫によりメーデーという労働運動の火を途絶えさせることなく、聖火リレーの火のように将来につながれたことに、深く敬意を表します。

現在、わが国をはじめ国際社会におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、きわめて深刻なダメージを受けています。

県内のハローワークや労働局に雇止めや休業等の相談が、数多く寄せられる中、労働局では事業主、事業所に対して、雇用調整助成金の活用などにより、雇用を維持するよう強く要請しています。

同時に、働き方改革についても、多様な働き方を選択できる社会を実現するため、助成金を活用した自宅での勤務、テレワークの導入を働きかけるなどにより、可能な限り推進しております。

また、労働行政機関という枠を超え、厚生労働省の組織の一員として、米国からの入国者の水際対策の要員として、成田空港に職員を派遣しております。

このように、新潟労働局といたしましても、現下の困難を乗り切るため、できる限りのことをしていることをご承知置き頂ければ幸いです。

メーデーに参加の皆さま、関係機関の皆様、県庁を始めとする地方自治体と一緒に戦って、この困難を克服しましょう。

本日のメーデーが、県内で働く皆様にとって、歴史的に重要な1ページとなり、さらなる発展につながることを心から祈念申し上げまして、メッセージといたします。

令和2年4月29日

新潟労働局長 奥村 伸人